

7月7日(月)～9日(水)の3日間、北海道洞爺湖サミットが開催されました。

サミットでは、地球規模のさまざまな課題について議論されました。その中でも、わたしたちの未来に大きな影響を与える気候変動問題について、「G8（日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、ロシア）」は、2050年までに世界全体の温室効果ガスの排出量を少なくとも50%削減するという長期目標を、世界全体の目標として採択することを求める、との認識で一致しました」と発表されました。

この長期目標を達成するには、わたしたちが、ごみの減量や省エネルギーなどに取り組むことが必要です。また、サミットの開催を契機に、節電などをされた方も多いのではないのでしょうか。それを一過性で終わらせるのではなく、サミット終了後も継続することが大切です。地球温暖化防止のために、環境に優しい生活を続けましょう。

市内では、サミットの開催を盛り上げようと、環境に関する取り組みなどが行われましたので、その一部をお知らせします。

## 洞爺湖サミット記念クリーン作戦



6月22日(日)、『洞爺湖サミット記念クリーン作戦』（登別市連合町内会・登別市衛生団体連合会共催）が行われました。

この取り組みは、北海道洞爺湖サミットが開催されるため、環境美化活動に取り組もうと、例年行っている『春・秋の登別クリーン作戦』と同様に行われました。

この日は、町内会や町会、自治会の皆さんが8時から1時間ほどかけて道路や公園、広場などから空き缶やペットボトル紙くずなどを燃やせるごみ、燃やせないごみに分別しながら拾い集めました。

サミット終了後も、きれいなまち登別を実現するために、ごみのポイ捨てなどはやめましょう。

## リサイクルまつり ‘08イン登別・白老

7月6日(日)、クリンクルセンターで『リサイクルまつり ‘08イン登別・白老』（同運営委員会主催）が行われ、約2,000の方が訪れました。

今年のリサイクルまつりは、北海道洞爺湖サミットのテーマの一つが『環境』のため、サミットの開催日前日に行われました。

会場には、フリーマーケットや環境パネル展・環境標語展、マイバッグの展示などのe（エコ）コーナー、牛乳パックを使用した紙すき・絵手紙作り体験などのリサイクル体験コーナー、郷土芸能『熊舞』などが行われました。

環境省が提唱している『1人1日1kg CO<sub>2</sub>削減運動』の登録や、家庭から排出された二酸化炭素の量と使ったお金が把握できる『環境家計簿』、『子ども環境家計簿』の体験には、地球温暖化防止のヒントになるとあって、訪れた方は積極的に参加していました。



▲マイバッグ展示



▲環境家計簿体験



▲環境クイズ